

交通事故発生件数

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	1,617 (-128)	4 (+1)	1,920 (-163)
札幌市	8,968 (-408)	42 (0)	10,835 (-475)

※平成16年10月14日現在。
()は前年比

区役所へは公共交通機関で



区役所にお越しの際は、できるだけ公共交通機関をご利用くださるよう、ご協力をお願いします。

※区役所周辺は駐車禁止となっています。路上での駐車は交通の妨げとなるのでおやめください。

(詳細) 総務企画課交通防災・施設担当 ☎231-2400(内線208)

(健康)guide

中央保健センターからのお知らせ

申込・詳細 保健センター地域保健課

〒060-8612 南3西11 ☎511-7221 ㊟511-8499

【知って得！健康講座（講演会）】

健診を受けて現在の健康状態をチェックした後は、健診結果を参考に、今一度生活を振り返り、見直してみることが大切です。

自分の健康は自分で管理する力をつけましょう。

◆内容 講演「健診結果を生活習慣病予防に生かそう」(講師=甲谷哲郎医師~NTT東日本札幌病院循環器内科部長)。

◆日時 12月7日(火)午後1時45分~3時30分。

◆会場 保健センター (南3西11)。

◆対象 区内在住の方。

◆定員・費用 80人・無料。

◆申込 11月25日(木)午前9時から電話で(ファクス不可)。先着順。

【青年期の心の健康についての講演会】

◆内容 講演「思春期・青年期の子どもを持つ親御さんたちへ~彼らとの出会いを通して感じたこと~」(講師=高澤良平臨床心理士~市立札幌病院静療院指導相談課教育指導担当係長)。

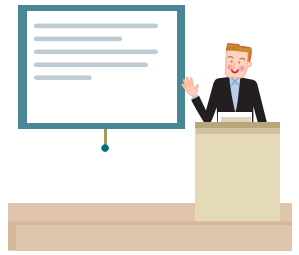
◆日時 11月15日(月)午後1時30分~3時。

◆会場 保健センター (南3西11)。

◆対象 原則として区内在住の方。

◆費用 無料。

※申込不要。当日直接会場へお越しください。



中央区 歴史の散歩道 第98回

屯田兵の父と呼ばれた

永山武四郎

北海道の開拓使として、札幌に赴任し、屯田兵制度の創設と発展に、力を尽した永山武四郎を紹介します。

薩摩藩士の子に生まれ、帝国陸軍の軍人となった武四郎は、明治五年九月、開拓使官吏として、札幌に赴任しました。当時の北海道は、大國ロシアの脅威に対する軍備が緊急に必要とされていました。

六年八月、武四郎を中心とした開拓使中堅幹部らが、上司である開拓次官の黒田清隆に対し、屯田兵制度の創設を進言しました。また、同年十一月には、岩倉右大臣に対して同様の建白を行いました。こうした開拓使の熱意により、十二月に同制度が設置されました。

八年、開拓使の中に屯田兵の事務を扱う屯田事務局が設置され、武四郎も配属されました。同年、東北地方や道内から初の屯田兵一九八人が、

琴似兵村に移住し、同制度が確立していきます。十年には、西

南戦争へ屯田兵第一大隊を率いて、政府軍の一翼として活躍。

この後、官邸や官舎が与えられる開拓使官吏としては珍しく、私邸を建築しました(永山記念公園(北2東6)内に現存)。このことから、北海道や屯田兵を愛した武四郎の心が伺えます。

十八年、同事務局が屯田兵本部に改称され、武四郎は、初代本部長に就任しました。それから三十五年までの間、屯田兵の責任者として、多くの後輩を育成し、屯田兵制度の発展に生涯をささげました。晩年は、東京で過ごすものの三十七年九月に生涯を閉じ、北海道の土となるという本人の遺志により、豊平墓地に埋葬されました(現在は、里塚霊園に改葬されています)。



▲永山武四郎